

命を守る金物をつくる

ゆうげんがいしゃ みや た てっこう
有限会社 宮田鉄工

〒482-0035 岩倉市鈴井町蔵前 4
TEL: 0587-37-1569
https://taishin-shelter.co.jp



■会社概要

1963(昭和38)年に創業した建築金物の製造加工会社です。

「たくさん笑顔を守りたい! 常に考え、創造し挑戦する」をモットーに、品質の向上や木製部材の新しい接合構造と接続金物の開発に取り組んでいます。

最近、金物の開発・製造だけでなく、自社の製品をたくさんの人に使用してもらうため、商品の開発・販売にも取り組んでいます。



命を守る耐震シェルター「剛建」
「耐震タボパイプ」金物は大学の協力を得て、強度・耐震性について有用な実験結果が出ていましたが、建物に利用した実績がないため、取り扱ってくれる業者がありません。しかし、実績をつくるために一軒の家を建てるのは容易ではなく、「この金物の強度を最大限に活かして実績をつくる方法」を考えていました。そこで考え付いたのが「耐震シェルター」でした。

苦境から生まれた金物
中国などからの輸入品が増え、国内の建築金物業が衰退しました。業界に所属する企業はかつて100社ぐらいありましたが、現在国内だけで事業展開しているのは数社程度です。これも非常に苦しい状態でした。
そこで輸入品と勝負するのではなく独自のものを開発しようと考えました。阪神淡路大震災以降、「命を守ることはたくさん笑顔を守ることだ」と考えていたので耐震に有効な金物の開発に取り組みました。そして生まれたのが柱材を接合する「耐震タボパイプ」金物です。

建物には、基礎と構造材の間や、構造材と構造材の間に「建築接合金物」が隠れており、強度が生み出されています。作業しやすく、建物の安全に効果的な建築金物を開発・製造する会社が岩倉市にあります。

これは、今住んでいる住宅の一室の中に、90度の木材と「耐震タボパイプ」金物で、より強固で安全な空間を確保するものです。
これまで住宅自体の耐震補強が進められてきましたが、高い費用がかかるためなかなか進んでいませんでした。高齢者だけで生活している住宅などではなおさらです。そこで、特に「古い住宅にお年寄りだけで住んでいて、お金をかけずに安全を確保したい方」を対象に、設置しやすい金額になるように建材メーカーの協力を得たり、補助金ができるように認定も取得しました。
「耐震タボパイプ」金物はハンマーを使わなくても木材と木材を接合することができ、今後は耐震シェルターに応用した災害復興住宅の開発も考えています。

「自社製品を作ったことでクレームがここに来るようになった。クレームは製品の改善の貴重な意見だ」と語る宮田社長。宮田社長のものづくり魂はさらに熱く燃えています。

